



令和8年度当初予算(案)がまとまりました

みんなにかけ橋

未来をひらく創造都市デザイン予算

一般会計予算(案)
3015億円

令和8年度当初予算(案)の一般会計の予算規模は、3015億円で、7年度予算に比べ、262億円(9.5%)の増となりました。一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、4200億3900万円となっています。

※金額は表示単位未満で端数処理しているため、構成比は表示金額から算出した数値とは異なる場合があります。

予算編成の考え方

「板橋区基本計画2035」および「いたばしNo.1実現プラン2028」を展開していく初年度であり、10年後のめざすまちの姿へと、成長・発展するための礎を築いていく重要なスタートの年となります。

「いたばしNo.1実現プラン2028」に掲げた「ウェルビーイング戦略」「クリエイティブ戦略」「トランスフォーメーション戦略」の3つの戦略を分野横断的に展開していくことで、「誰もが幸せを実感している」「つながりと愛着がはぐくまれている」まちを具体化していきます。

一方、令和8年度税制改正で受ける影響や物価高への対応など、懸念

が山積しており、区の財政状況の見通しは楽観視できる状況にはありません。

そのため、変化の激しい社会経済情勢が区民生活に及ぼす影響や、事務事業の効果・効率性を客観的な視点で見極め、区政課題の解決と将来の区政につながる積極的な予算編成を行いました。※本予算(案)は、令和8年第1回区議会定例会で審議されます。編成過程など詳しくは、区ホームページをご覧ください。



▲詳しくはこちらから

令和8年度当初予算(案)概要

区分	令和8年度	令和7年度	伸び率	
一般会計	3015億円	2753億円	9.5%	
特別会計	国民健康保険事業	534億8000万円	534億9000万円	△0.0%
	介護保険事業	484億1600万円	481億6700万円	0.5%
	後期高齢者医療事業	160億5000万円	146億7300万円	9.4%
	東武東上線連続立体化事業	5億9300万円	12億5000万円	△52.6%
合計	4200億3900万円	3928億8000万円	6.9%	

※伸び率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

不合理な税制改正に対する区の見解

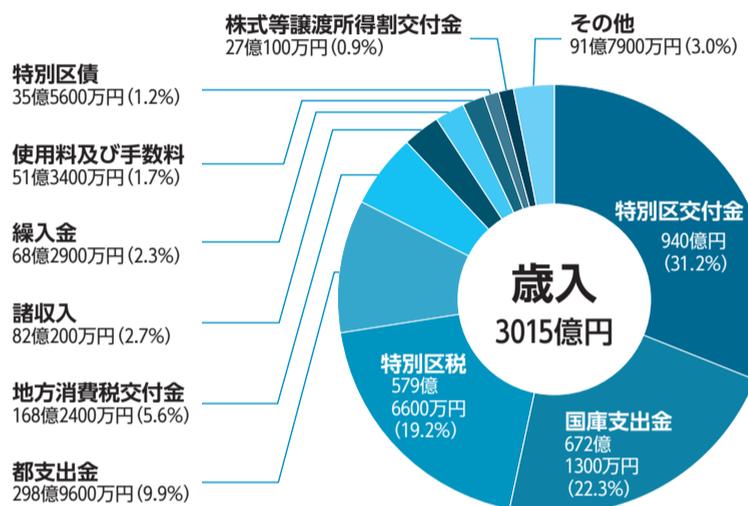
国が「地方創生の推進」「税源偏在是正」の名のもとに断行してきた法人住民税の一部国税化や地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税制度などの不合理な税制改正により、区は深刻な影響を受けています。

これらの不合理な税制改正は、地方税の本旨を無視したもので、

地方財源の不足は、本来、国の責任において地方全体の財源充実をもって解消すべきです。

区では、東京都・特別区長会と連携し、不合理な税制改正の抜本的な見直しや、国の責任による地方税財源の充実強化などについて、粘り強く国へ訴えていきます。

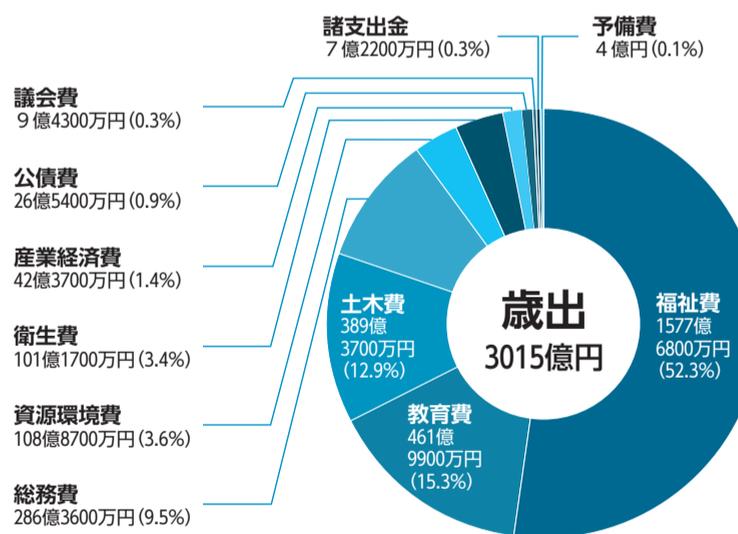
歳入(一般会計)



歳入予算の特徴

- 特別区交付金は、法人住民税を含む調整税などの増により、59億円の増収を見込んでいます
- 特別区税は、1人あたりの所得額の増などにより、43億円の増収を見込んでいます
- 繰入金は、財政調整基金から28億円繰り入れたほか、小・中学校や区営住宅の改築工事などに充てるため各基金から38億円繰り入れ、19億円の増額となりました

歳出(一般会計)



歳出予算の特徴

- 福祉費は、私立保育所保育運営経費・地域型保育事業経費・自立支援給付経費の増などにより、45億円の増額となりました
- 土木費は、上板橋駅南口周辺地区・大山駅周辺地区・板橋駅周辺地区のまちづくり事業経費や史跡公園(仮称)整備経費の増などにより、145億円の増額となりました
- 教育費は、小・中学校の改築・改修工事やあいキッズ事業経費の増などにより、95億円の増額となりました

問合 財政課 ☎ 3579-2030

主な事業は2面をご覧ください

